

コンクリートの凍結融解抵抗性の評価方法に関する研究委員会

第1回全体会議議事録

日 時：平成 18 年 7 月 12 日(水) 16:00～18:00

場 所：朱鷺メッセ (JCI 年次大会会場)

出席者：河野委員長、千歩主査、田口副主査、名和主査、阿波副主査、近松主査、片平副主査、石川委員、小山田委員、加藤委員、十河委員、高田良章委員、高田龍一委員(代理：緒方先生)、高橋委員、羽生委員、濱委員、宮里委員、林田氏(オブザーバー)、鳥居南氏(事務局)

配布資料：

- 1-1 委員会の概要説明
- 1-2 名簿
- 1-3 第1回幹事会議事録(案)
- 1-4 スケジュール(案)
- 1-5 シンポジウム会告
- 1-6 凍害環境評価 WG 資料

議事：

1. 委員長、幹事ならびに委員の自己紹介

資料2に基づき、自己紹介が行われた。なお、オブザーバーとして、林田氏(寒地土木研究所)の自己紹介ならびに長谷川氏(北大)の推薦もされた。

2. 委員会の主旨・活動計画の説明およびディスカッション

資料1および資料3に基づき、委員会の活動目的・構成等が説明された。

1) 目的・活動対象

- ・ 凍結防止剤や飛来塩分などとの複合劣化も念頭において、活動する。なぜならば、塩化物イオンにより誘発されるスケールリングが、多く発生しているためである。
- ・ 普通コンクリートを主な対象とする。ただし、特殊コンクリート(軽量コンクリート等)に関するコメントも付記する。
- ・ 現状の凍結融解試験方法の見直しについて、問題を明らかにし、それを踏まえた試験方法を提案することを目標にする。ただし具体的な試験方法の見直し案までには至らない場合もありうる。なお、海外の最新(主にヨーロッパ)の知見として、実環境を考慮した評価方法が主流となりつつあること、温度制御が凍結融解に及ぼす影響をシビアにコントロールする方向であること、などが紹介された。

2) WG 構成・予算

- ・ 予算の有効活用の観点から、参画委員が集まり易い場所でのWG開催、幹事会やシンポジウムと絡めたWG開催、が提案された。
- ・ WG相互の情報交換を図るため、各WGの議事録は全委員(オブザーバーを含む)

にも配信する。なお、他 WG へ参加する場合、旅費の捻出は不可であるが、事前に事務局へ申請した上での任意参加は可能である。

3) 今後のスケジュール

- ・ シンポジウム 兼 全体会議 : 12月6日
- ・ 報告書目次案の作成 : H19年3月頃
- ・ ポスター : H19年度 JCI 年次大会
- ・ 報告会(報告書完成) : H20年6月頃
- ・ 環境評価 WG : 第1回=9/14 PM (協会)、第2回=12/7 AM (協会)
第3回=期日未定 (札幌)
- ・ 性能評価 WG : 第1回=9/15 AM (協会)、第2回=12/7AM (協会)
第3回=2月上旬 (札幌)
- ・ 試験方法 WG : 第1回=8/4 12:30-17:30、第2回=10月上旬、
第3回=12/7 9:00-13:00、第4回=H19年2月 (全て協会)

以上 (作成:宮里、確認:河野委員長)